

# さくらの里

## 上空から見た実りの秋



今年も収穫の時期がやってきました。豪雨や猛暑が続いた大型台風の影響で、異常気象に見舞われましたが、作柄はやよとの情報が届いています。ドローンは稲刈り作業を撮影してみたいところ、収穫風景を確認できず、風景も少し見慣れた風景も、今までは変えただけで新鮮です。コロナの環境下でも、新しい生活様式を今までの少し視点を変えて、新たな気持ちで送りたいです。

## 文化祭のお知らせ(第二弾)

東北芸術工科大学の学生が大日如来堂(西横田尻)について研究しました。その成果を発表します。

**展示:** 例大祭で相撲が行われた頃の境内をジオラマ化して展示します。堂宇の思い出話を集めているので、お話にいらしてください。

**ワークショップ:** 大晦日にお問い合わせを書いて奉納する「オサメガキ」を体験するイベントと、例大祭の相撲大会を模して紙相撲大会を開きます。優勝者の称号「一本杉」を目指して取り組みます。

**費用:** 無料  
**対象:** どなたでもご参加いただけます。

**○展示コーナー(ホール)**  
団体作品・個人作品の他、高玉芝居の台本や衣装、かつら、刀の展示などを行います。

**○ワークショップ(研修室)**  
右の説明をご参照してください。

**○高玉芝居DVD上映(大会議室)**  
上演開始時間 ①午前の部 午前10時  
②午後の部 午後1時

※感染防止対策として、検温やマスク着用のご協力をよろしく願います。37.5度以上の熱がある方については、入場を差し控えます。

※展示作品受付中です。(21日まで)

## 地域の将来像 スローガン看板を設置

この度、コミセンの玄関に蚕桑地区桜の里づくり計画書に定めた蚕桑地区の将来像であるスローガン「伝統と地域の魅力が活きる里蚕桑」を掲示しました。今まで皆さんへの周知頻度が低く認知度が高いたまは言えませんでした。今度度は来館して頂く度に確認して頂けるようになりまして、地区民のベクトルを合わせて、蚕桑地区の将来像に向かって、皆さん桜の里づくりに参加していきましょう。



## 今、伝えたいことば②

花を支える枝  
枝を支える幹  
幹を支える根



根はみえねんだなあ  
(相田みつを)

## これからの予定

- 10月24日(土) 蚕桑地区文化祭
- 10月25日(日) 白鷹町総合防災訓練  
(場所: 蚕桑小学校)
- 11月14日(土) 蚕桑地区防災研修会  
\* 第1・3木曜日青色パト車運行

## 道智道の絵巻を蚕桑小学校へ贈呈



9月11日、蚕桑地区桜の里づくり推進委員会の多田章会長、道智道を甦らせる会の榎谷謙滋郎会長などで蚕桑小学校に道智道の絵巻を贈呈しました。

道智道は、道智上人が約六百年前に置賜地方から出羽三山まで歩いた道のことで養蚕振興と深く結びついています。榎谷会長から絵巻の依頼を受けた中川要一氏(山口)が約1か月かけて縦54cm、横約2.3mの水彩画を完成させました。今後、もう一部を額に入



## おらんだの地区紹介 ④ 東横田尻

今回は東横田尻地区の丸川区長にお話を伺いました。

### 地域づくりの重点項目は

国連の大きなテーマに、「誰も置き去りにしない」との項目があります。人間・自然も含めた広い意味での共生の思想が広く叫ばれています。それは地域に於いても当然当てはまることです。そこでまず考えるべきことは、何のための地域づくりか、と云う点です。あくまでも目的は区民の生きがいの向上であり、平和・安穏な生活です。そのため手段が地域づくりであると考えています。

### 地区の課題は

グローバル化が進み、少子高齢化など地域も大きく変化しています。そうした中、これまでの前例踏襲型のやり方ではやがて行き詰るのには目に見えています。我々自身の考え方も変える必要があり、時代の変化に柔軟に対応した、思い切った発想の転換も必要になって来ます。それと少ない予算の中での文化財の維持・管理・保護の問題、更に、伝統と新思考との調和をいかに図るかなど課題は山積んでいます。

### これからの目標は

1. これまでではどちらかと言えば、形而下（制度や行事）の問題に焦点を当ててきましたが、これからは形而上（心や意識）の啓蒙にも取り組んで行くべきと考えます。なぜならば、区民の心がバラバラであれば、何をやっても、それは強制されたものと受け止められ、本当の達成感・喜びはないからです。区民が納得し、同じ方向に向かって自主的に主体的に参加・協力することが大切です。

2. 「新しい時代を建設するのは、青年の熱と力である」との至言があります。地域の盛衰は一に係って青年の力をいかに引き出すかにかかっています。同時に高齢者の豊かな人生経験も併せて生かすことにより、勢いは加速します。



## 高玉芝居後援会主催「白鷹学講座 特別講演会」のご案内

- 日時 11月21日(土) 午前10時開演(9時30分開場)
- 会場 白鷹町文化交流センター(あゆーむ)
- 演題 「置賜の名刹・瑞龍院と白鷹の歴史文化」
- 講師 角屋由美子氏(米沢市上杉博物館 学芸員)
- 定員 先着80名 ※入場無料。入場整理券取り扱いは蚕桑コミセン・あゆ〜むで。



## 防ごう！山での遭難事故

### 西駐在所 山口巡査長通信



秋は山に入る機会が多くなる季節であり、山岳遭難の発生が心配されます。自分の体力や体調に合わせて無理をせず、しっかりと準備をして山に入りましょう。特に次のことを心がけましょう。  
 ○家族等に行先を告げる。複数名で入山する。  
 ○携帯電話を持ち、GPS機能を有効にする。地図やコンパスを持っていく。  
 ○クマ鈴、ラジオを携帯する。  
 昨年、きのこ採りに伴う山岳遭難者は6名で、3人の方が負傷しています。

## 冥福を祈り 平安と繁栄を誓う

### 蚕桑地区戦没者追悼式

戦後75年になる令和2年9月12日(土)、西横田尻の上の台公園にある招魂碑と蚕桑地区204名の戦没者が刻まれた慰霊碑を前に、蚕桑地区戦没者追悼式が行われました。式は蚕桑地区遺族会(会長長谷部緑男氏)が主催



し、3年毎に開催されています。蚕桑地区を代表して、全地区の区長の皆様が参列され、戦没者の冥福を祈り、蚕桑地区の平安と益々の繁栄を誓い合いました。

